

オートモビリティ産業における ナンバーワン・プラットフォーム戦略

株式会社ブロードリーフ

東証一部 3673

投資家向けIRセミナー「プレミアムブリッジサロン」

2021年10月9日



代表取締役社長

大山 堅司

Kenji Oyama

1968年9月生まれ
鹿児島県出身

高校時代に起業

- 1987年4月 : 建設積算ソフト会社、ビーイングの設立に参画
- 1989年4月 : ビーイング取締役役に就任
- 1996年12月 : 米シリコンバレーにBeing Investment Corpを設立、CEOに就任
- 2000年7月 : ビーイング取締役副社長に就任
- 2005年10月 : 投資会社であるアイ・ティー・エックスの顧問に就任、ITX翼ネット（現ブロードリーフ）の創業に携わる
- 2006年1月 : ブロードリーフ取締役副社長に就任
- 2006年6月 : ブロードリーフ代表取締役社長に就任

1. 事業概要

ブロードリーフの想い

社名の由来

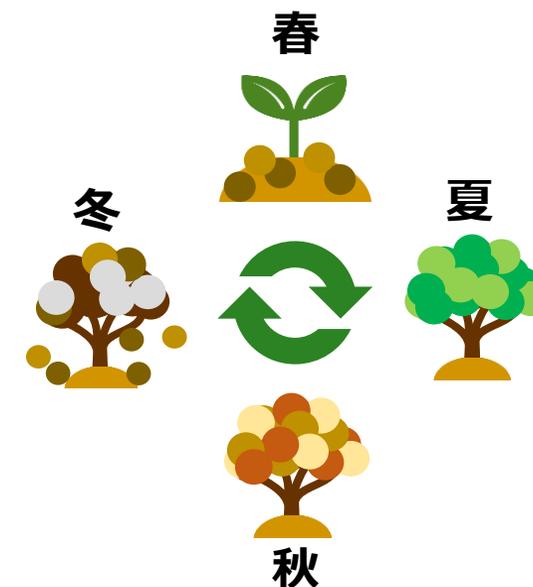
ブロードリーフ (Broadleaf) とは **広葉樹** のことです。

広葉樹の多くは春から夏にかけて葉に日差しを受けて成長し、冬には葉と実を落として土に養分を返します。

その循環がさまざまな動植物と共生できるフィールドを育むのです。

ビジネスの大地に一本の広葉樹として根をおろし、葉を茂らせ、実をつけ、お客さまをはじめとするすべての人々とともに未来へと成長を続けたい。

ブロードリーフという名にはそのような気持ちが込められています。



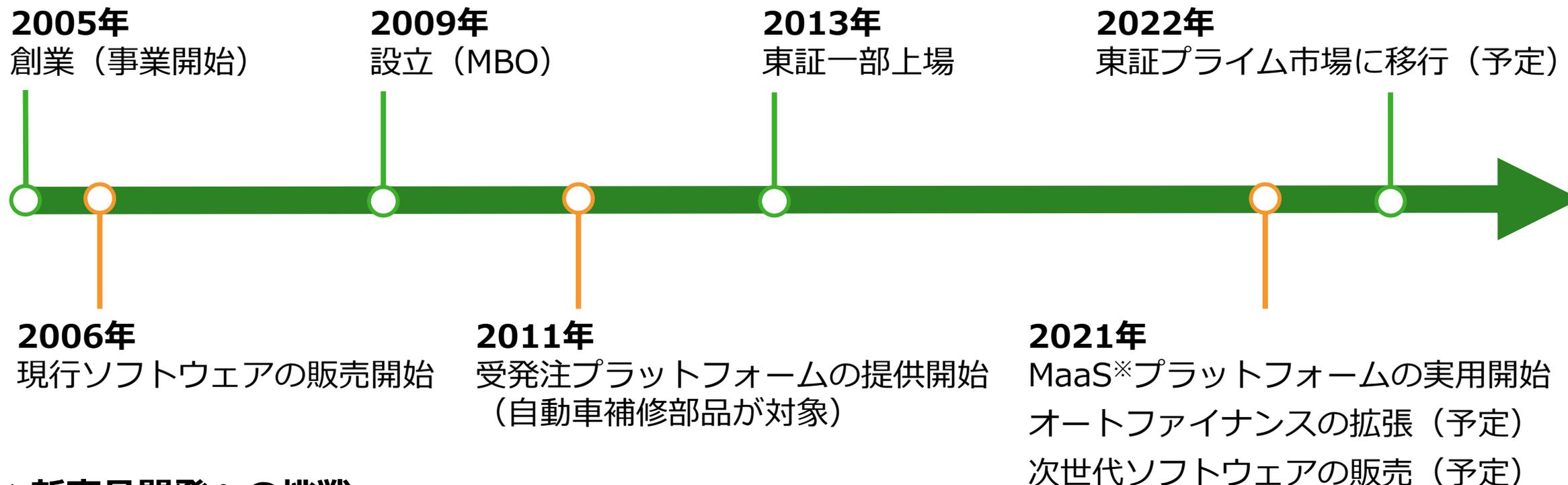
企業理念

感謝と喜び の心を根本に、幅広い業種・業界に特化した業務アプリケーションを開発し、より良い製品・サービスを提供することにより、お客さまの事業創造に貢献いたします。

創業からの歩み

企業理念である「感謝と喜び」の心を根本に、変革と挑戦を続けてきました。

◆経営基盤の変革



◆新商品開発への挑戦

※モビリティ・アズ・ア・サービスの略

皆さまとの接点

皆さまが車検やスマホのプランを検討するときにご覧になる見積書は
ブロードリーフの業務ソフトウェアを使って作成されています。

◆自動車をお持ちの場合

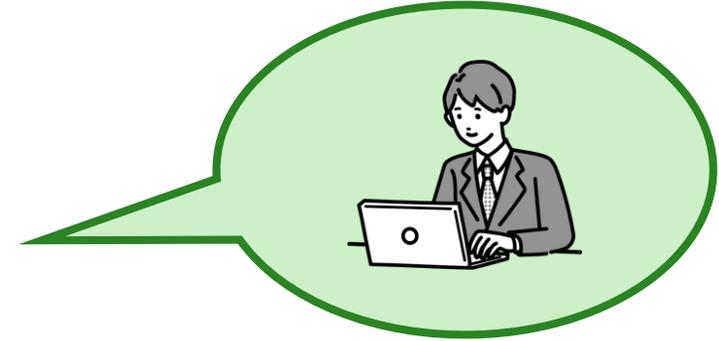


車検に出す時に…

整備工場



見積書のご案内



ブロードリーフの業務ソフトウェアを
使って見積書やプランなどを作成

◆スマホをお持ちの場合

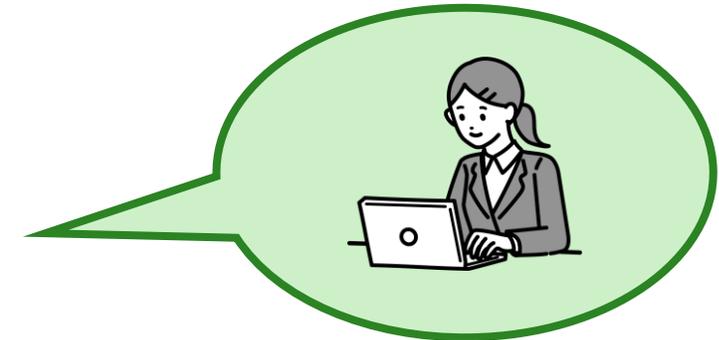


機種変更する時に…

携帯ショップ

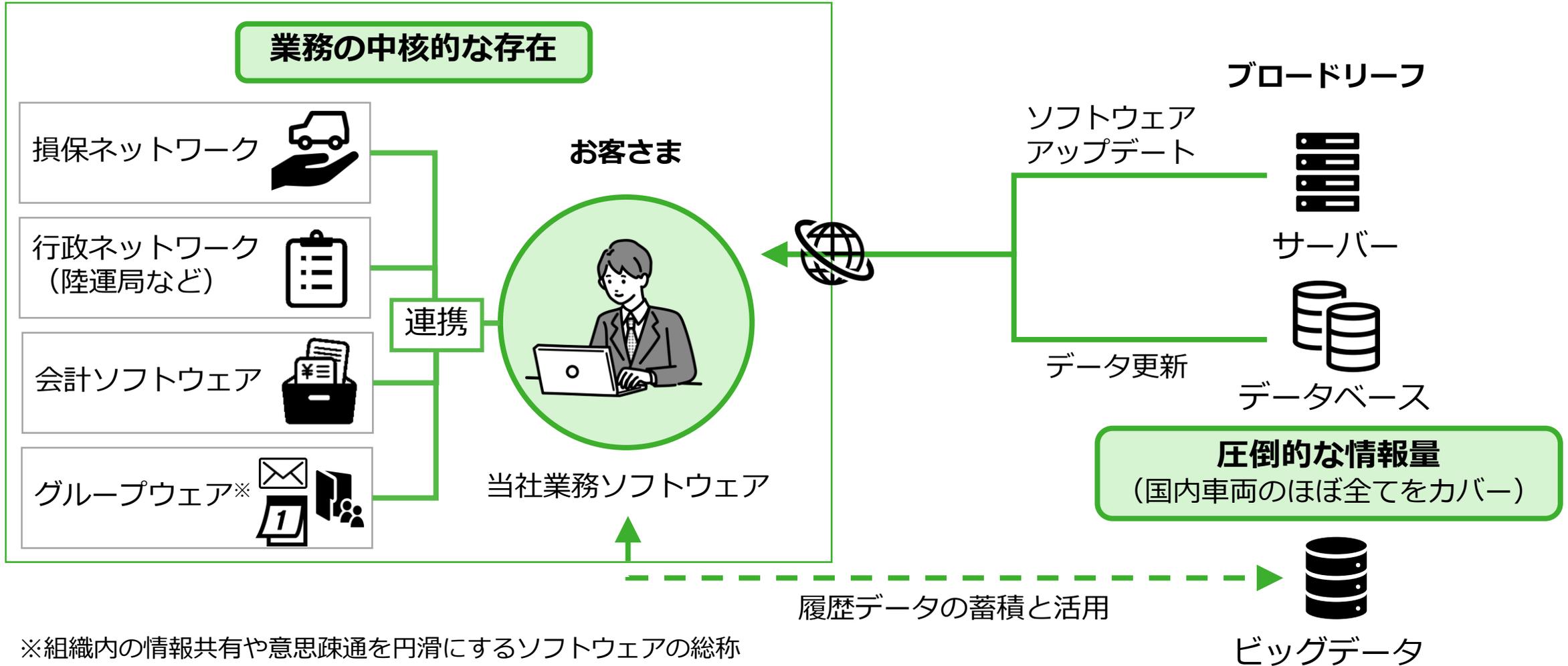


プランのご案内



特徴と強み（1） 業務ソフトウェア

社外ネットワークや他システムとつながることで、中核的な基幹システムとなります。
最新バージョンのソフトウェアが利用でき、最新のデータベースにアクセスできます。

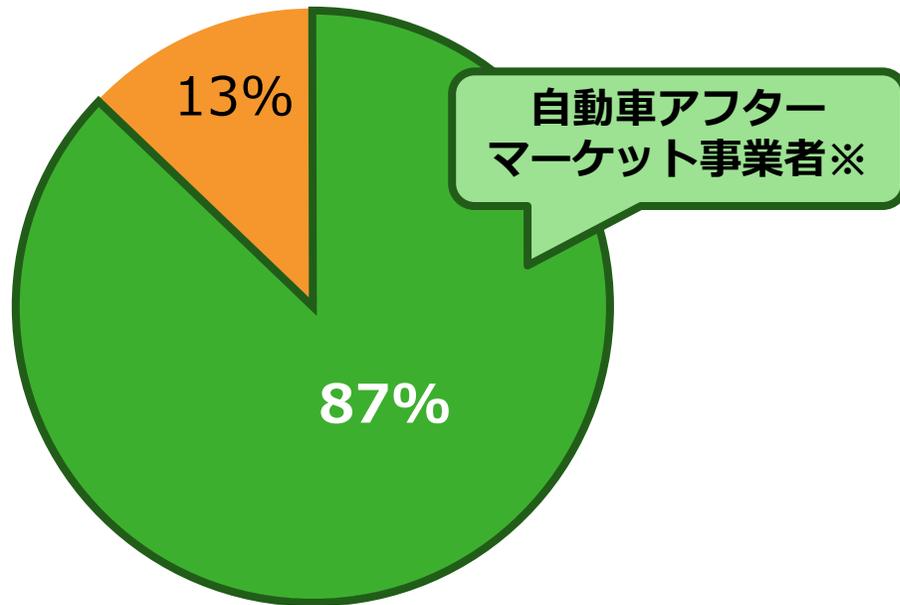


※組織内の情報共有や意思疎通を円滑にするソフトウェアの総称

特徴と強み（2） お客さまと市場

当社の商品やサービスは特に自動車アフターマーケット事業者※に支持されており、お客さま数や売上規模で競合他社を圧倒しています。

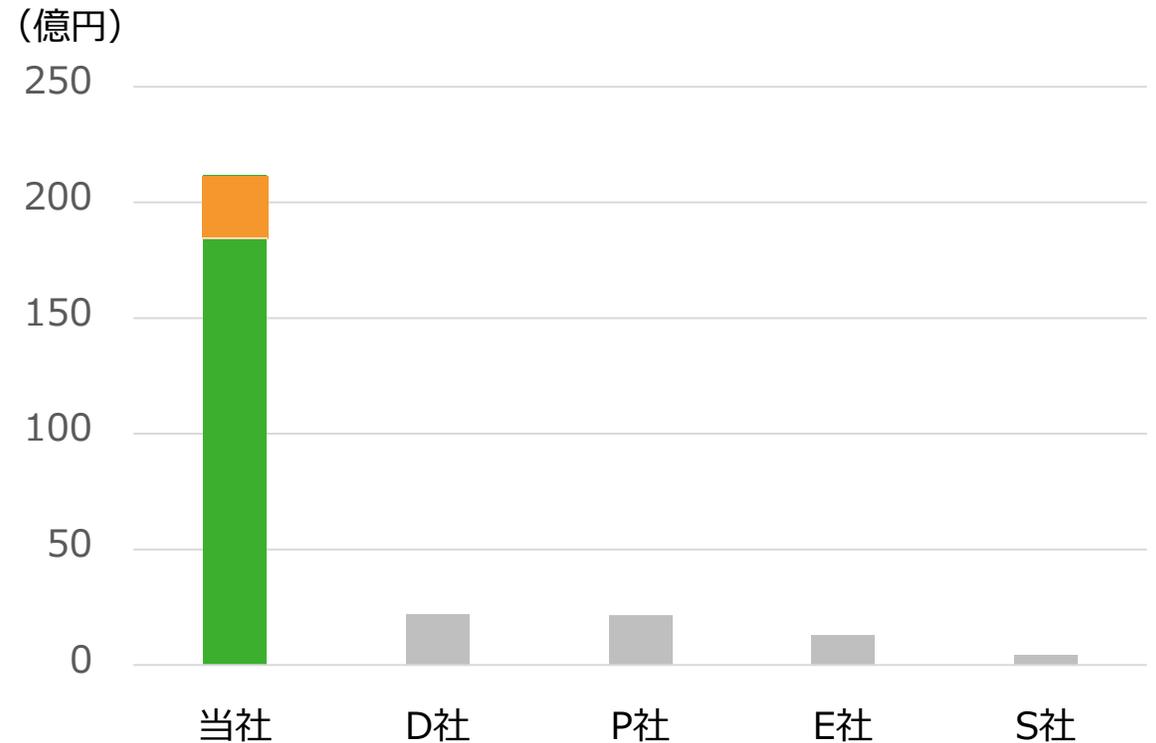
当社売上の構成比



注) 2020年12月期のソフトウェア売上が対象

※整備工場、钣金工場、ガソリンスタンド、カー用品店、部品商社、中古車販売店、解体・リサイクル業者などを指す

競合他社との売上比較



注) 各社とも直近の事業年度、当社は連結

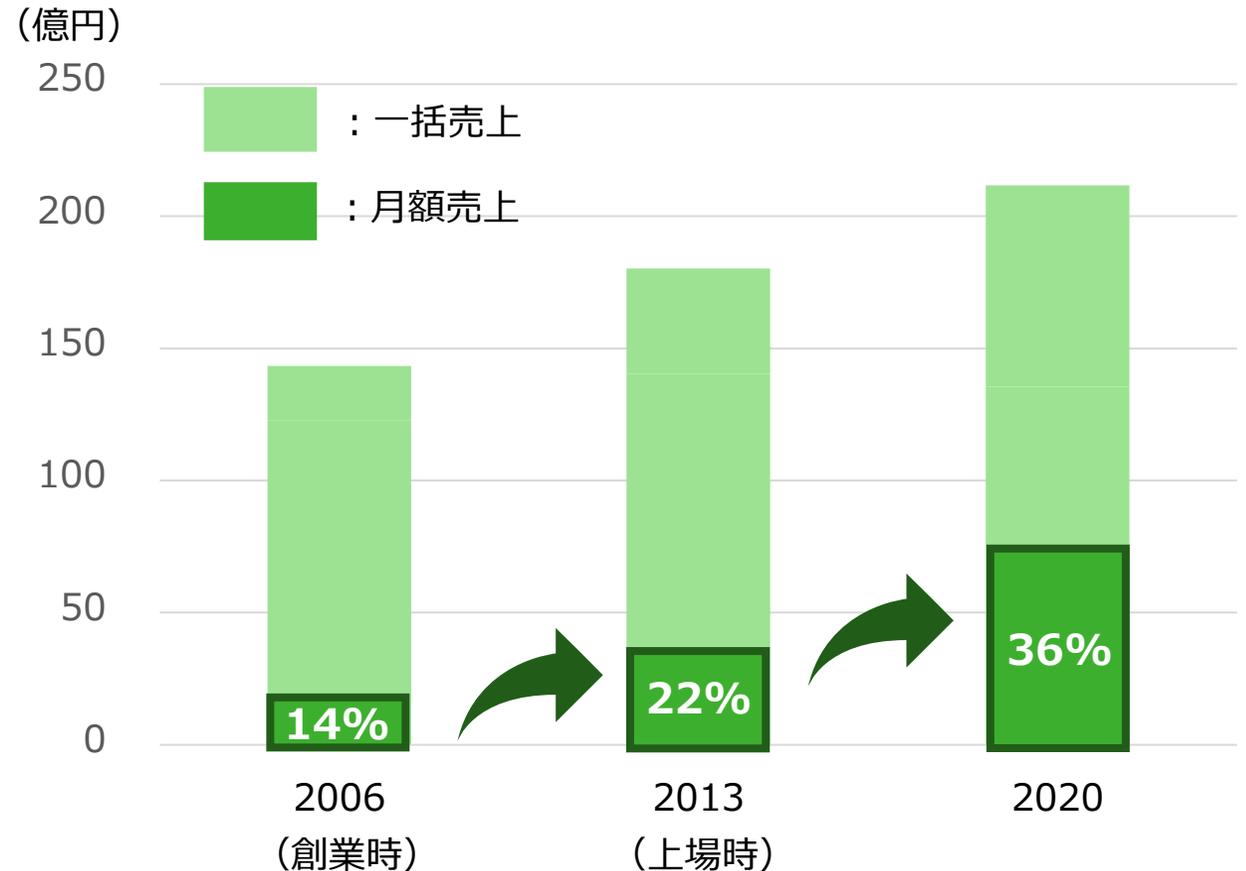
特徴と強み（3） 売上構成の推移

お客さまへの課金項目に応じて、一括売上と月額売上に分けて計上しています。
創業以来、月額売上比率は順調に上昇しており、売上の安定化に寄与しています。

売上認識

一括売上	ソフトウェアライセンス（利用権） （6年間が標準※）	
	機器類・サプライ品	
月額売上	ネットワーク利用料 （サーバー・データベース）	
	カスタマーサポート料	
	受発注プラットフォーム手数料	

売上構成の推移

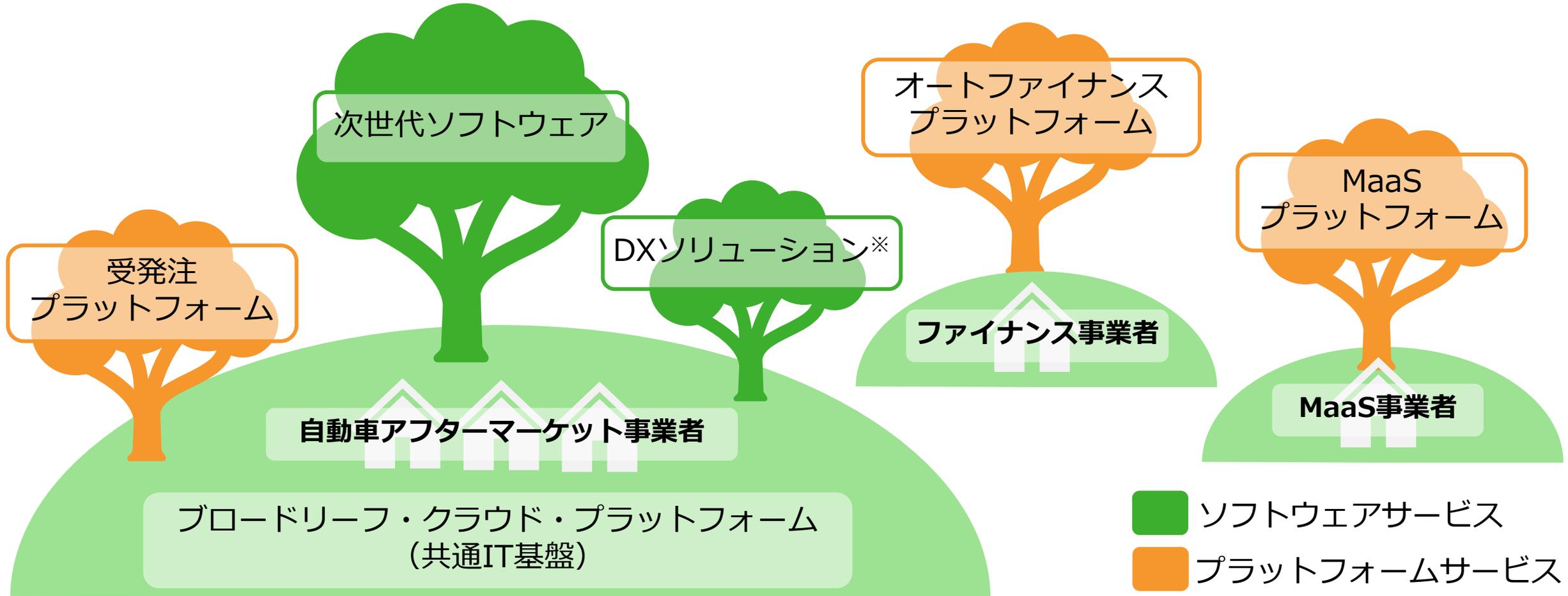


※期間満了後に継続利用する場合は、ライセンスの再購入が必要
継続率は約95%

2. 成長戦略

成長のための基本方針

業務ソフトウェア事業を軸足として、サービスの展開領域を拡大することで、オートモビリティ産業における、ナンバーワン・プラットフォームを目指します。

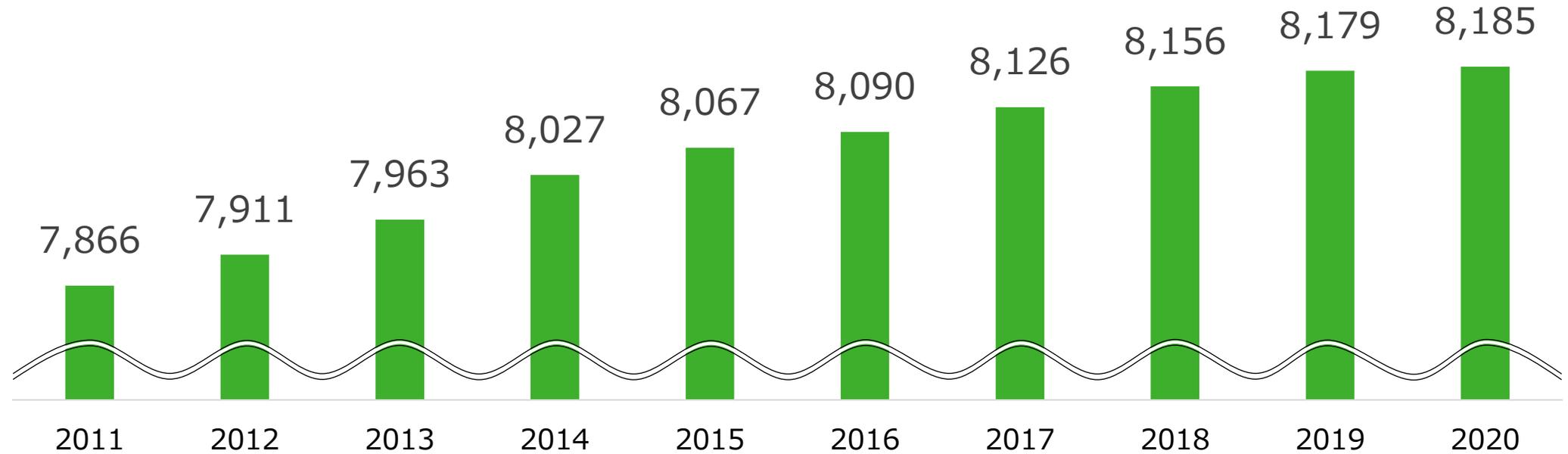


※DX（デジタル技術によるビジネスの変革）を実現するために有用なITツールや仕組み

お客さま産業のトレンド（1） これまで

国内車両台数の増加に伴い、自動車の点検整備需要は堅調であり、その担い手である自動車整備工場は、大規模化する流れとなりました*。

国内車両台数（軽含む、万台）



(出所) 自動車検査登録情報協会

*一般に民間車検場と呼ばれる「指定工場」が増加（データはP23に掲載）

補足）当社のお客さま企業数の推移をP24に掲載

お客さま産業のトレンド（2） これから

点検・検査の高度化対応に加えて、自動車の利用者向けサービスが多様化。
これらのニーズに応えるべく、当社は多様なITソリューションでお客さまを支援します。

◆自動車産業のトレンド

自動車の進化

自動運転・電動化など



ライフスタイルの変化

オンライン化・利用型



影響



◆自動車アフターマーケット事業者の対応

設備・人材投資 & サービス拡充

多種多様なセンサーへの対応や電気系技術が必要

サービス多様化を通じて顧客接点を増加

◆ブロードリーフの戦略

次世代ソフトウェアの市場投入

DXソリューションの強化

プラットフォームサービスの拡張

DXの積極導入

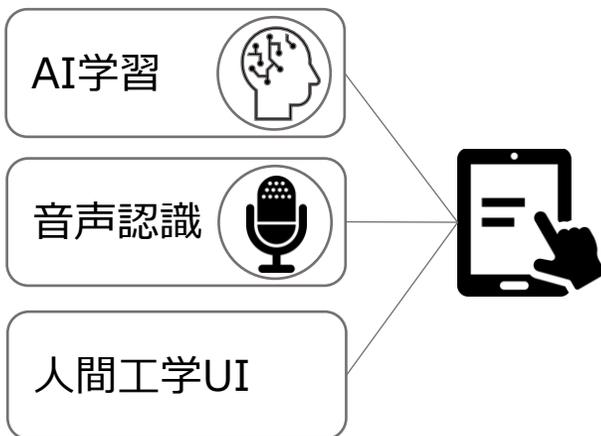
支援



商品戦略（1） 次世代ソフトウェアの市場投入

お客さまに提供する業務ソフトウェアを全面刷新し、次世代版として市場投入します。
魅力的な商品性とすることで、シェア拡大を図るとともに、1社あたりの売上増加につなげます。

圧倒的な操作性



端末フリー



必要な機能を選択

業種別基本メニュー

業種A

業種B

業種C

職種別メニュー

職種A

職種B

職種C

オプションメニュー

拡張機能A

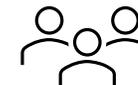
拡張機能B

導入しやすい価格体系

企業ID（業種別）



従業員ID（職種別）



IDごとの月額サブスク払い
（一部従量課金）

商品戦略（２） オートファイナンスの拡張



ファイナンス事業者と自動車アフターマーケット事業者が、当社プラットフォーム上でつながります。そして、金融決済や契約取引等のデータが、当社プラットフォームでデータ変換され相互連動します。

ファイナンス
事業者

自動車アフター
マーケット事業者

カーオーナー

①各種オートファイナンス
サービスの提供

②ローンなどを提案



⑤契約データの反映

当社業務ソフトウェア
を使って処理・管理



④契約締結

③車両購入・車検など
のときに利用を検討

ブロードリーフ・クラウド・プラットフォーム

データ変換

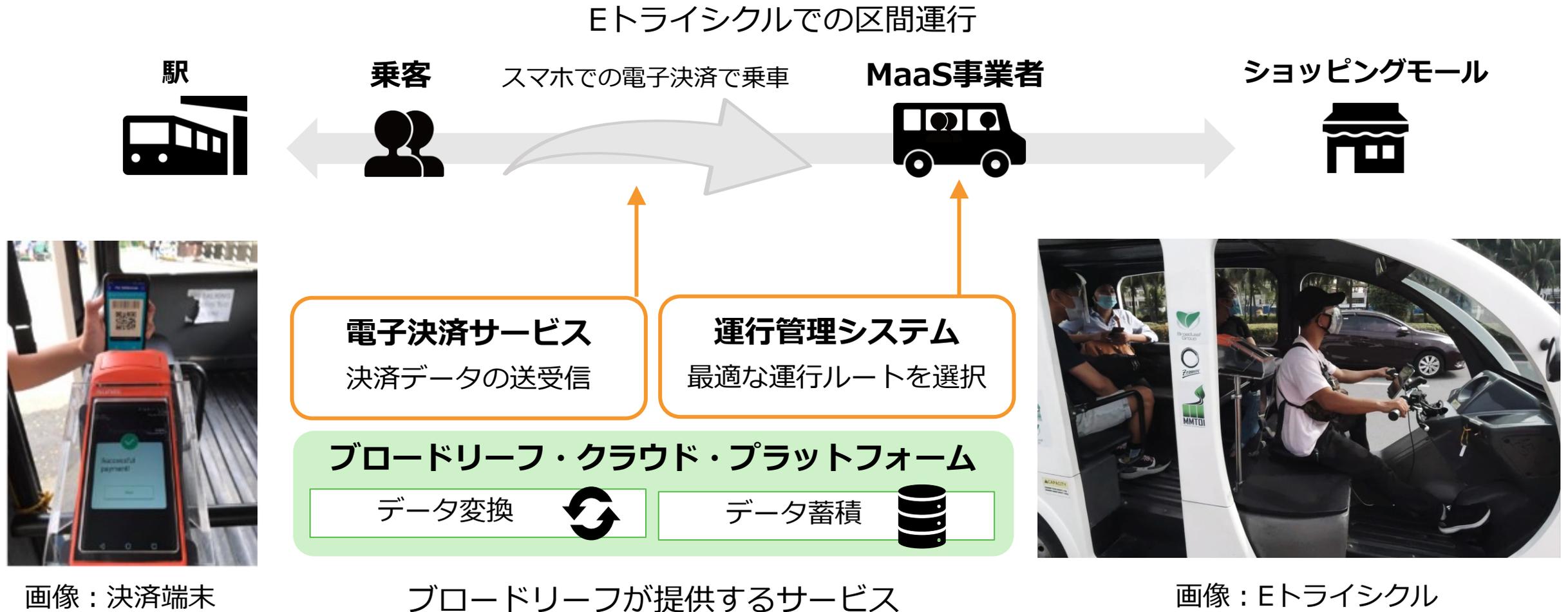


データ蓄積



商品戦略（3） MaaSプラットフォームサービスの展開

パサイ市（フィリピン）のMaaS事業者は、運行管理システムや電子決済サービスなどをセットにしたMaaSプラットフォーム「Smart Mobility Gateway」を提供開始、アセアン各国に順次展開する計画です。



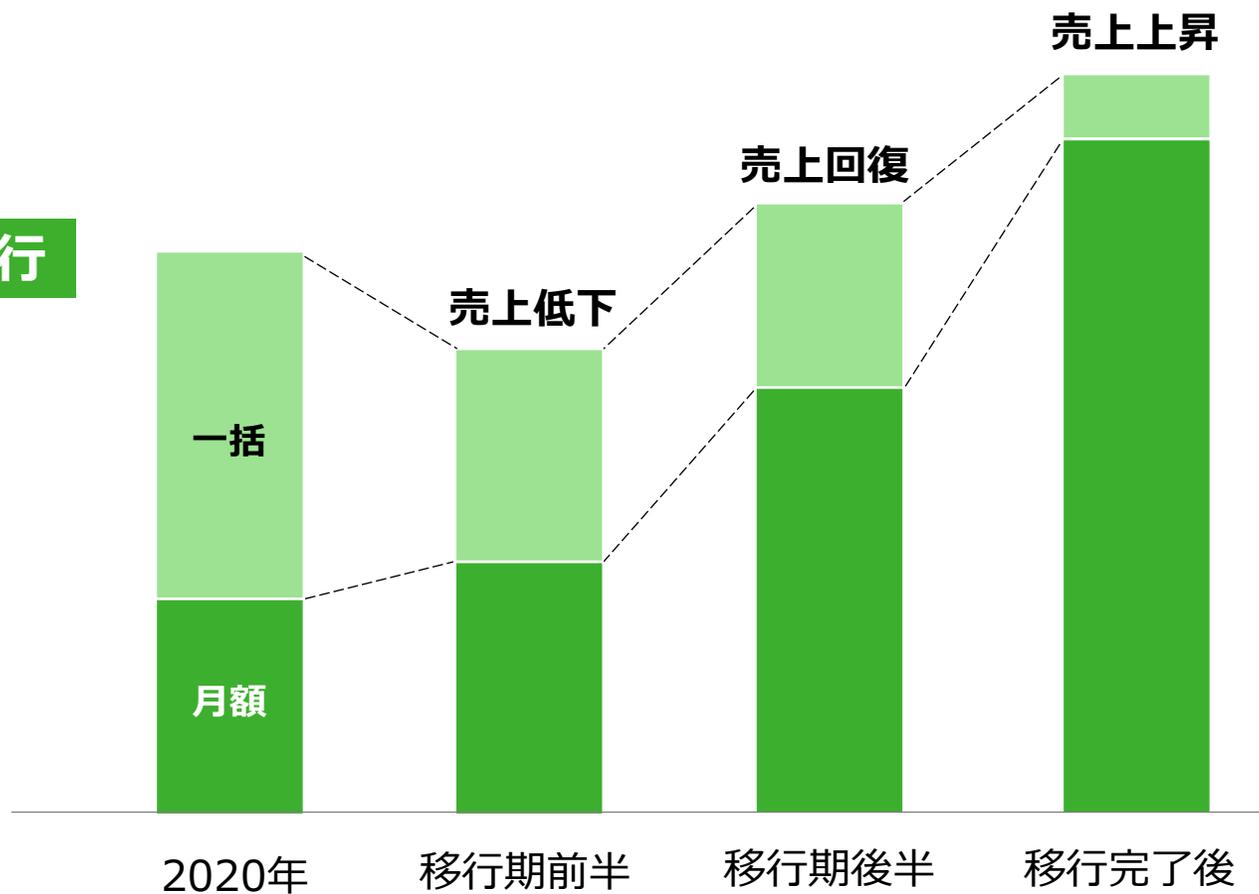
売上成長イメージ

次世代ソフトウェアの市場投入に伴い、一括売上から月額売上に移行します。
移行完了まで数年を要しますが、並行してプラットフォームサービス売上の上積みを図ります。

売上認識の変更



売上成長イメージ



社会課題・環境課題の解決に向けて

社会インフラを背後で支える当社の事業活動は、社会課題・環境課題の解決につながっています。

課題解決のテーマ

安心安全で快適な
移動社会の実現



課題解決につながる企業活動

自動車の点検や整備を適切に行うためのITシステムの提供



ASEANでのMaaS事業者向けITプラットフォームの提供



関連するSDGs



資源の循環型利用の促進



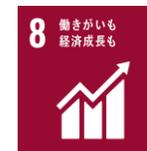
自動車リサイクル部品の受発注プラットフォームの提供



働きやすい社会の実現



在宅・リモートワークの促進（制度やインフラの整備）



3. 業績予想など

2021年 業績と配当の予想

業務ソフトウェアの月額サブスク化を始動したことに伴い、一括売上の目減り（約17億円）が生じるほか、コスト先行となるため、減収減益となる見込みです。

(百万円)	FY2021 通期予想	FY2020 通期実績	増減額	増減率
売上収益	20,350	21,162	-812	-3.8%
営業利益	2,600	4,135	-1,535	-37.1%
税引前利益	2,580	3,820	-1,240	-32.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,640	2,465	-825	-33.5%
基本的 1株当たり当期利益	18.66円	28.16円	-	-
1株当たり配当金	8.00円	13.20円	-	-

株価推移



「JPX 日経中小型株指数」2021年度（2021年8月31日～2022年8月30日）構成銘柄に
選定されました。



※2016年12月17日効力発生日の株式分割（1:2）と2018年4月1日効力発生日の株式分割（1:2）を考慮

株主構成

特定の支配株主はおらず、いずれの企業グループにも属していない、独立系の会社です。

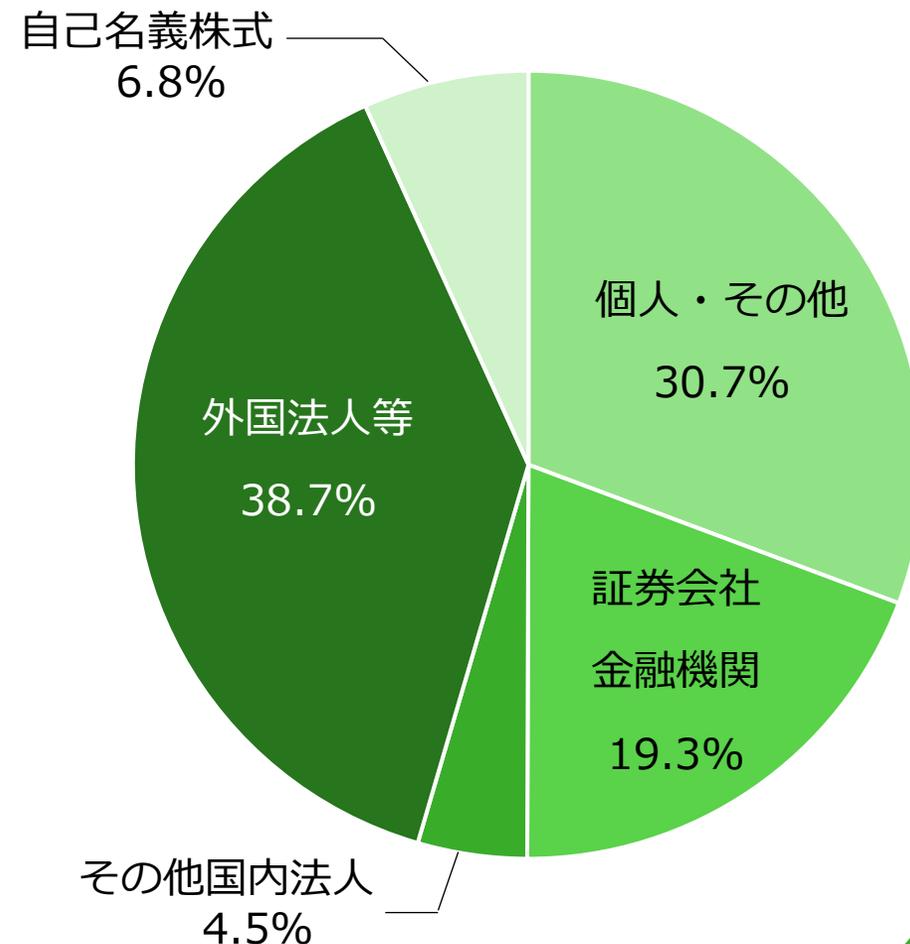
株式数・株主数（2020年12月末時点）

発行可能株式総数	320,000,000株
発行株式総数	97,896,800株
株主数	35,269名

最近の主な大量保有・変更報告書（抜粋）

提出日	保有者	保有株式数
2021/3/22	Fidelity Management & Research LLC フィデリティ・マネジメント・アンド・リサーチ	9,779,178
2021/2/22	Mawer Investment Management Ltd. メイワー・インベストメント・マネジメント	9,406,000
2020/5/19	Baillie Gifford & Co 他1社 バイリー・ギフォード・アンド・カンパニー	11,961,500

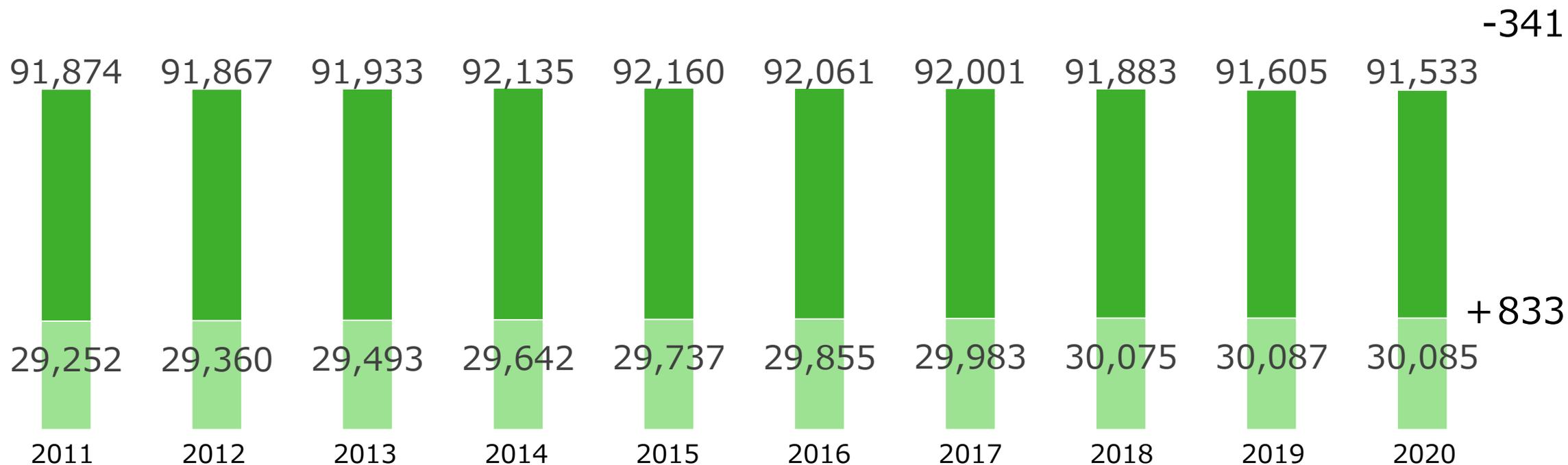
所有者別分布（2020年12月末時点）



4. 参考

自動車整備工場数の推移

自動車整備工場数（事業場数）



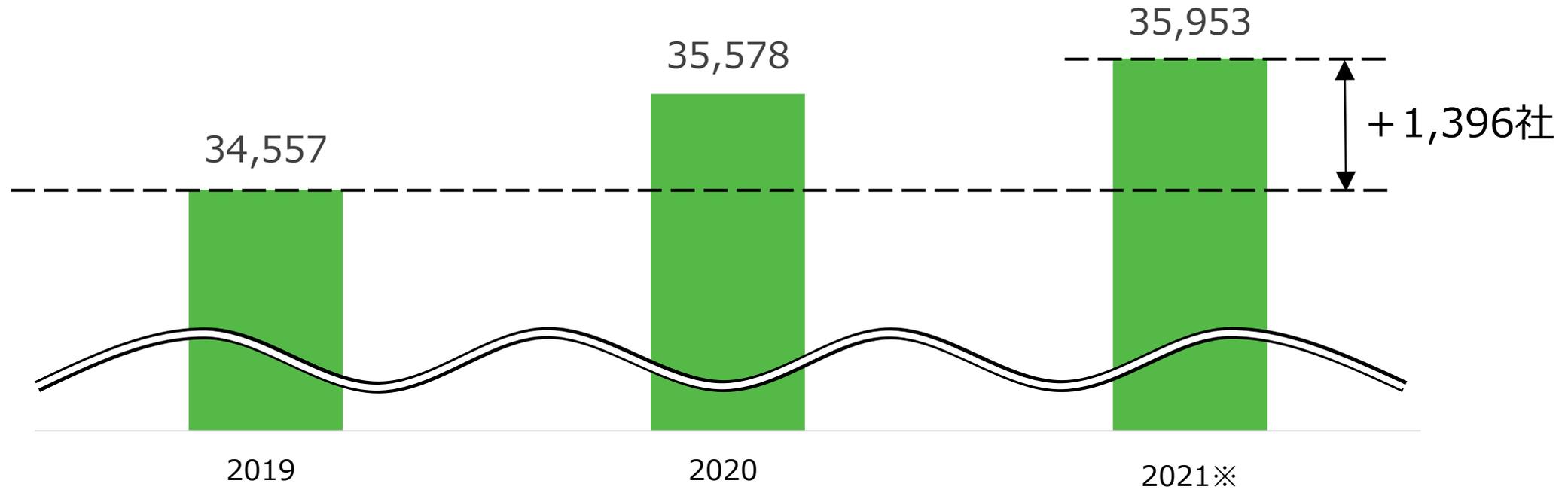
■ 整備工場

■ 指定工場（内数）

（出所）日本自動車整備振興会連合会

お客さまの数の推移

顧客数（自動車系、法人数）の推移



※上期末時点

会社概要



会社名	株式会社ブロードリーフ
代表者	代表取締役社長 大山 堅司
上場市場	東京証券取引所市場第一部 (3673) ※プライム市場に移行予定
業種	情報・通信業
創業/設立	2005年12月/2009年9月
資本金	7,148百万円 (連結)
事業年度	1月1日から12月31日まで
事業内容	自社開発の業務ソフトウェアをはじめ各種 I Tサービスを幅広く展開 カーアフター産業に属する事業者向けを中心に、基幹システムとなる業務ソフトウェアを提供するほか、 自動車部品の受発注プラットフォームやビッグデータ分析等、多様な独自サービスをワンストップで提供 今後のモビリティ社会の進化を見据え、先端技術の実用化に関する調査研究を推進中
本社所在地	東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F
国内拠点	全国 営業29拠点 開発3拠点
主な子会社	株式会社タジマ

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ

インベスターリレーションズ室

E-mail : bl-ir@broadleaf.co.jp